

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年2月16日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 時間になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、私から、お手元の広報日程に基づきまして補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、2. (1)、2月16日、本日の会合ですが、現在、審査会合が開催されているところでございます。議題は2件ございます。

まず、議題1、こちらは議論が終了したところと承知しておりますけれども、中国電力・島根原子力発電所の地震動評価についてということで、基準地震動について、前回の議論を踏まえて審査が行われ、おおむね妥当な検討がなされたと評価されるという結論になったものと承知をしております。

その後、議題2といたしまして、電源開発・大間発電所の敷地周辺の地質・地質構造について、前回議論を踏まえ、コメントへの回答を聴取しているところということでございます。

続きまして、2月20日火曜日、(2)の審査会合についてでございます。議題は2件予定されております。

まず、1点目といたしまして、東北電力・女川原子力発電所2号機につきまして、建屋の健全性について説明を聴取する予定ということになっております。こちらは、機器の耐震性を評価する際に入力する地震動の観点からの評価ということでございます。

続きまして、2点目といたしまして、日本原電の東海第二につきまして、工認のスケジュールを聴取するというところでございます。こちらは補正が提出をされておりますので、これを受けたスケジュールについて説明を聴取するということになっております。

続きまして、同日、2月20日の(3)第11回もんじゅ廃止措置安全監視チーム会合が予定されております。議題は主に2件予定されております。

まず、議題の1つ目といたしまして、もんじゅの廃止措置計画についてということで、内容といたしましては、先般、保安規定についての変更申請が提出されておりますので、この保安規定についての審査を行う予定となっております。

続きまして、議題2といたしまして、燃料取扱い設備の点検等に係る実施状況ということで、前回に引き続きまして、燃料取扱い設備の点検の状況を確認するという予定とな

っております。

続きまして、2ページ目、(4)、同日2月20日でございますが、午後に非公開の審査会合が予定されております。こちらはいわゆる特重施設に係る審査のため、非公開とさせていただきます。

内容といたしましては、3件の審査を予定しております。高浜発電所3号機、4号機、伊方原子力発電所3号機及び川内原子力発電所1号機、2号機、これらそれぞれについて、工認の審査を行うという予定となっております。

続きまして、2ページ目中段、2月21日水曜日、(6)放射線審議会 眼の水晶体の放射線防護検討部会の第7回の会合が午前中に予定されております。こちらの議題は「眼の水晶体に係る放射線防護の在り方について（意見具申）（案）」についてということでございます。前回の同部会で議論されました論点等の内容及び意見募集の結果を踏まえまして、意見具申の案をお示しし、部会で議論をいただくという予定になっているものでございます。

続きまして、2ページ目下段、2月22日木曜日、(8)の会合でございます。震源を特定せず策定する地震動に関する検討チームの第2回の会合が予定されております。議題は大きく3点予定されております。

まず、議題1といたしまして、震源を特定せず策定する地震動に関しての事業者の検討の取組状況につきまして、事業者から説明を聞くという予定でございます。

続きまして、議題2といたしまして、他分野における検討事例ということで、鉄道分野での検討の事例について、関係者から説明をお聞きするという予定となっております。

さらに、議題3といたしまして「第1回会合における議論の整理」という議題となっております。こちらは、第1回の会合で検討の進め方について議論を行ったところでございますので、それを踏まえて、今後の検討の方向性などについて整理を行い、あわせて第1回の議論の際に出たいくつかの論点についての議論が行われるという予定となっております。

続きまして、3ページ目、3.委員の現地視察として新しい予定が1件入っております。

2月23日金曜日になりますが、九州電力・玄海原子力発電所3号機、4号機の現地調査に山中委員ほか調査に行くという予定となっております。こちらは特重施設に係る審査に関する現地調査ということでございまして、関連施設の設置予定場所等の確認を行うということを予定しているものでございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ヒガシヤマさん。

○記者 朝日新聞のヒガシヤマです。

22日の震源を特定せずの検討チームですけれども、事業者の取組状況で説明する事業者というのはどこになりますでしょうか。

○大熊総務課長 こちらは御案内のとおりかもしれませんが、この震源を特定せず策定する地震動については、事業者側において検討を進めていただくということが決まっております。進めてきていただいたことを前提として、更にこの検討チームで検討を進めているということでございます。その検討の状況をお聞きするということですが、事業者全体として取組を進めていただいておりますので、電事連、あるいはその関係者という形で説明を聞くことになっていると承知をしています。その中で具体的にどこの方がということまでは、まだ承知をしておりません。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—